

再評価個票(案)

事業名	二級河川東槇尾川局部河川改良事業	事業主体	大阪府
所在地(区間)	槇尾川合流点地先～和泉市北田中町地先		
再評価理由	事業採択後10年を経過		
事業概要	目的	東槇尾川の最下流部は、国道170号が並走し、沿川に人家が連担しており、かつ、時間雨量50ミリ非対応であることから、洪水による被害を防止し、安全で豊かな生活環境を築くため河川改修を進める。	
	内容	改修延長 L=520m 護岸工 6,300m ² 道路橋3橋 落差工2基 用地取得 A=約4,000m ²	
		目標流量：100m ³ /s (時間雨量 50ミリ)	
		治水安全度(着手前)：約30m ³ /s	
	上位計画	大津川水系工事実施基本計画(S.53) 大津川水系全体計画(H.7 変更認可)	
関連事業	国道170号歩道設置事業		
事業の進捗状況等	経過	事業採択年度：H.2	工事着手年度：H.2 完成予定年度：21世紀初頭
	進捗状況	全体事業費： 約10.0億円 (内、用地費 約2.3億円) 整備延長 L=約520m	投資事業費： 約4.7億円 (内、用地費 約2億円) 整備済延長 L=約320m (62%)
	一連の整備効果発現	改修済箇所から氾濫防止が図れる。H.13年度末を目標に、槇尾川合流点から上川橋までの人家連担区間の時間雨量50ミリ対応を概成させる。	
	課題	特になし	
事業概要図	別 添		

事業を巡る社会情勢等の変化	事業目的	災害発生時の影響(想定氾濫区域内) ③重要な公共施設：—— ④災害弱者関連施設：—— ⑤その他：道路橋3橋 府道1路線 国道170号線	①浸水戸数：約160戸 ②農地浸水面積：約6ha
	過去の災害実績	③最大農地浸水面積：—— ④重要な公共施設等：—— ⑤災害弱者関連施設：—— ⑥その他：——	①被災頻度：1回(S.47～H.9) ②最大浸水戸数：約10戸(最大S57.8)
	災害発生危険度	①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：約30% ②着手前の治水安全度：約30m ³ /s	
	地域の状況	①地域開発の状況	特になし
	②地域の協力体制	用地取得も地元の協力のもとに順調に進んでいる。	
事業効果	③関連事業との整合性の変化	——	
	④その他	改修によって浸水被害も軽減してきており、また、河川改修と合わせて歩道設置等道路整備事業も進められているので改修区間での改修による評価は高い。	
その他特記すべき事項	別紙 - 1 参照		